

## 第 97 回目の GIS News! です

各地の祭も終わり朝晩は過ごしやすい季節となりました。ちょっと涼しくなると「今年の冬の雪はどうだろうか？」と気になってしまうのは、豪雪地帯尾花沢に住む私だけでしょうか。冬までには、運動会や芋煮会また稲刈りと忙しい日が続きますが、食欲の秋、美味しいものをいっぱい食べて厳しい冬に備えましょう。



一面にそばの花(尾花沢のそば畑)

## 山形県道路台帳の電子納品開始

山形県の道路台帳作成業務において、本年度より電子納品が開始されました。今までの紙の入力表記入からデータベース入力した電子文書の提出となり、入力集計の作業時間が短縮され人件費などの節減に繋がると思われます。これは、「やまがた IT 戦略 2004」策定により平成 18 年度までに計画されている「道路施設管理システム」のベースになるデータ構築と考えられます。

今回の電子化の内容は、道路新設または改良による台帳作成業務において、紙の入力表からエクセルデータでの入力表の納品となるものです。項目ごとに総てコード化されたマスターデータより入力また補正する仕様です。今後はさらに「台帳附図」の電子化と先に述べた「道路施設管理システム」が整備されることによって、「統合型GIS」によるデータの一元管理が可能となり、基幹ネットワークを介し全職員がいつでも道路に関するデータを活用できるようになると思われます。

また、道路情報を必要としている他の部署や市町村、民間への提供も迅速に簡単出来るようになるでしょう。実際に道路台帳を必要としている部署は数多くあり、さまざまな業務や事業で活用することが出来れば、情報の共有化により業務の効率化になります。民間においては占有申請や開発事業などで活用出来るようになり、行政サービスの向上にもなるのではないのでしょうか。

## 中越地震復旧・復興GISプロジェクト

ところで、最近さまざまな災害がとりあげられていますが、ライフラインの最も重要なものの一つに「道路」が挙げられると思います。2004年に発生した中越地震においても、道路が寸断され孤立する集落が多く見られたことは記憶に新しい悲惨な災害でした。そのようななか「新潟県中越地震復旧・復興GISプロジェクト」というものを目にしました。これは、「GIS」を使って災害情報や震度情報、道路の被災情報などを同じ地図に重ね合わせたホームページで、災害復旧のための情報を住民やボランティア団体また関係機関へ提供する目的で立ち上げられています。参考にされてはいかがでしょうか。

<http://chuetsu-gis.nagaoka-id.ac.jp/>

## 次回の GIS News!

今回は、2005年10月3日発行予定です。よろしくお付き合いください!

## Geographic Information System

記事：協同組合山形県地理情報センター 三浦 貞美 発行日：2005年9月5日

